



参加者200名で

秋の植樹活動を行いました

令和6年9月25日(水)、雷別自然再生事業地で、今年度2回目の「雷別ドングリ倶楽部」を開催しました。

これは高齢級のトドマツ人工林が立枯れし、笹地となった箇所で、「雷別ドングリ倶楽部」の方々と森林再生に取り組んでいるものです。

当日は会員20名が参加し、郷土樹種であるミズナラ・ヤチダモ・カツラ・キハダを90本植栽するとともに、野生生物から植栽木を保護するため、保護管で被覆しました。

始めに、当センター職員から植樹方法や保護管の組立て方等を説明した後、会員の方々は植樹箇所へ移動し、苗木を手際良く植えていました。昼食後は、植栽木に保護管を被覆し、予定していた作業を無事、終了しました。

参加者からは、「エゾシカだけではなく、ウサギの食害にも注意を払う必要があるんですね。」や「来年も植樹に参加したいと思います。」等の声がありました。

秋の訪れが感じられる雷別国有林で、会員の方々の交流がより深まった一日でした。



▽保護管を組立てる様子



▽植樹の様子

企業と連携した

広葉樹の森林づくり

令和6年9月28日(土)、雷別自然再生事業地で「広葉樹の森林づくり」を支援しました。

これは、西松建設(株)等の皆様方が、当センターと協働し、社会貢献活動の一環として自然再生の取組みを行っているもので、今回で第7回目となります。

前日の雨で当日は天候が心配されましたが、ミズナラ、ヤチダモ、カツラ、キハダの110本を植樹するとともに、植栽木を野生生物の食



▽植樹の様子



▽集合写真の様子

害から保護するため、生分解性の保護管で被覆し、今回で累計1000本を超える節目となりました。  
 参加者の方々は、植樹班と保護管の組立て班に分かれて活動に取り組み、植樹と保護管の被覆は予定時間より早く終了しました。  
 参加者からは、「貴重な経験ができた。」「植樹した全景は壮観だった。」等の感想をいただき、植樹箇所風景を写真に収めている方もいました。  
 来年度以降も、企業と連携して広葉樹の森林づくりを検討したいと考えています。

### 校庭の樹木ならお任せあれ!

令和6年10月28日(月)、標茶町立中茶安別小中学校で、森林環境教育の時間を活用して「秋の学校林活動」を行いました。

低学年は小1〜4年生を対象に「校庭の樹木の観察」について、パワーポイントで説明した後、校庭に移動し樹木観察を実施しました。  
 高学年は小5〜中学3年生を対象に「樹名板を設置しよう」「校庭の樹木を測ろう」「樹木図鑑を作ろう」というテーマで行いました。

まず、夏の活動で自分が作成した樹名板を校庭の樹木に取付け、その後、樹木の太さ(胸高直径)を輪尺で、樹木の高さ(樹高)をブルーメライスと巻き尺で測樹しました。班内で協力しながら、校庭の樹木を測ることができました。

最後に、材積の求め方や材積表の読取り方を学び、校庭の「樹木図鑑」を完成させました。

盛り沢山の内容を無事終えることができ、生徒からは「樹木の測り方を知ることができて良かった。」と感想がありました。

今回作った樹木図鑑で、来年から校庭の樹木を観察できるよう、今後も協力していきたいと考えます。



▽高学年の測樹の様子



▽低学年の樹木観察の様子



## 林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

〒085-0825 北海道釧路市千歳町6番11号

【IP】050-3160-5787 【TEL】0154-44-0533 【E-mail】h\_kushiro\_f@maff.go.jp

【URL】[https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro\\_fc/index.html](https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html)

国民の森林・国有林



当センターは、根釧西部森林管理署が管理経営する国有林を主な活動区域として、フィールドの特徴を踏まえて、教育関係者、ボランティア団体・地域住民、企業、行政機関等の活動支援や技術指導を行っています。